

『治療がうまくいく医師－心理士(師)連携術』

慢性疼痛診療における医師－心理士(師)の連携について双方の立場から意見交換ができればと思います。

既に連携を取られている先生方、今後診療に取り入れていきたいと考えている先生方、その他、ご意見、疑問等々お持ちの先生方、是非、ご参加ください。

1/26(日)13:20～16:40

場所: グランフロント大阪

受付13:10～

参加費
無料

ナレッジキャピタルカンファレンスルームB07

13:20～14:00

「身体科医との連携で私が心がけていること」

富永病院 脳神経内科・頭痛センター 後藤あかり

14:00～14:40

「総合病院における複数の診療科との連携
－心理士(師)の専門性を活かした医師との連携－」

洛和会音羽病院 臨床心理室 中島陽大

14:40～15:30

症例検討

「“腹八分目”が課題となった慢性疼痛患者の面接過程」

関西医科大学心療内科学講座 兵 純子

休憩10分

15:40～16:40

講演

「他職種連携の慢性疼痛診療－心理士(師)との協働について－」

関西医科大学心療内科学講座 水野泰行



世話人: 関西医科大学心療内科学講座 加藤文恵

お申込み

「慢性疼痛診療体制構築モデル事業-近畿地区-」ホームページより

<http://painkinki.html.xdomain.jp>

または右記QRコード登録フォームよりお願いします。



登録フォーム